# 三クロネシア諸島自然体験交流事業

日本とミクロネシア諸島の国々の青少年の国際交流を通して、グローバル社会に対応した高い国際感覚を備えた青少年を育成することを目的として、平成14年度より実施しています(令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い中止)。

●事業期間/受入:毎年6月下旬の約10日間

派遣:毎年7月下旬~8月下旬の約11日間

●実施場所/受入:東京都ほか ※令和元年度は長野県・島根

県・広島県にて開催

派遣:マーシャル諸島共和国・ミクロネシア連邦 (チューク州・ポンペイ州・コスラエ州のう

ち2州)・パラオ共和国

●参加者/受入:10歳~14歳 マーシャル諸島共和国:24名、

ミクロネシア連邦:48名、パラオ共和国:

12名 (累計:1,183名)

派遣:小学校5年生~中学校2年生 64名

(累計:1,867名)

主催/独立行政法人国立青少年教育振興機構

●後 援/外務省・文部科学省・マーシャル諸島共和国・ミクロ

ネシア連邦・パラオ共和国

●プログラム/受入:スポーツ交流、上野動物園見学、都内中学

校訪問、国会議事堂見学、各国大使館訪問、

地方施設での交流プログラム等

派遣:自然体験、無人島体験、スポーツ交流、マ

リンアクティビティ、ホームステイ、合同

学習成果発表会 等

### 【受入の様子】



国会議事堂見学

#### 【派遣の様子】



無人島体験

### の参加者の声

- ・現地の人たちとともに行動をすることにより、いつもの自分だったらできないようなことに取り組むことができました。また、人種などというものはなく、人間としてかかわりあい、改めて人の温かさというのが分かりました。
- ・私はこの事業に参加して、「ミクロネシア諸島の良さ」を知りました。現地の方々は優しくてフレンドリーな方が多かったし、自然に恵まれていてとても良いなと思いました。
- ・日本と環境が違うので驚くことが多かったけど、水や食料の大切さを感じることができました。

## の事業参加後の変化

※平成23年~29年の参加経験者(380人)のうち、13~23歳の212人が回答。

外国語の学習に力を入れるようになったか

海外留学をしたことがあるか または、する予定があるか

今後留学してみたいと思うか



